

週刊

愛知民報

2022年
5月29日
第2587号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

日本共産党への支持をよびかける、(左から)さいとう愛子名古屋市長、すやま初美
参院愛知選挙区予定候補 21日、名古屋市東区



参院選まで1カ月

「比例・選挙区43万、15%以上」 「2つの任務」やりぬこう

参院選公示まで1カ月。日本共産党愛知県委員会は、17日の県委員会総会で比例・選挙区とも得票目標を「33万票、10%以上」から「43万票、15%以上」に引き上げました。議員・予定候補者を先頭に、「ロシアによるウクライナ侵略糾弾」「憲法9条守れ」「やさしく強い経済の実現」などの選挙の対決点を語り、「比例を軸」に大量宣伝・対話支持拡大に打って出ています。定数4の愛知選挙区で議席獲得のチャンスを切りひらき、『自・公・維・国』の改憲勢力の議席独占を許さない」と、すやま初美参院愛知選挙区予定候補は東奔西走し「今度こそ国会へ」と懸命に訴えています。県党は比例5議席と選挙区勝利の「2つの任務」を必ずやりぬくために「第1次支持拡大集中期間」(23～31日)に全力をあげています。

大攻勢 すやま候補 議席獲得のチャンス

街頭演説

すやま氏は21、22の両日、名古屋市中川、名東、守山、千種の4区で「すやまデー」の街頭演説に取り組みました。また、半田市内でおこなわれた演説会でも訴えました。

すやま氏は、「男女の賃金格差を是正し、女性の賃金を男性に近づければ、愛知県での経済波及効果は11兆円、雇用拡大効果は約55万人」との試算結果を紹介し、「男性も女性も多様な性を持つ人も、だれもが自分らしく生きられる社会をつくろう」と呼びかけました。

県後援会総会

愛知県日本共産党後援会は22日名古屋市内で総会を開き、参院選必勝に向けた会員拡大、積極的支持者づくり、「折り入って作戦」などの推進をはかる方針を決めました。沢田博中央選挙対策局長が講演しました。新しい

気候危機学習会

すやま氏は、22日に同党豊橋市後援会が主催した気候危機学習会の講師として登壇。約1時間にわたり講演



豊橋市日本共産党後援会の気候危機学習会で講演する、すやま初美氏＝22日、豊橋市

く県後援会長に土井敏彦氏(瑞穂区後援会)を選びました。

熱田区新事務所



同党名古屋熱田区委員会が22日、新事務所の開所式を兼ねた決起集会をおこないました。西田敏子同党熱田・中村・中川地区委員長が新事務所建設への協力に感謝を述べ、石山淳一同党県書記長が参院選情勢と比例5議席絶対確保・愛知選挙区議席獲得への決起を訴えました。

サポーター事務所

電話かけセンターとして利用できる「JC Pサポーター事務所」が4月末から開設されています。名古屋市中区新栄1-7-5東洋マンション201。☎080-7711-6295。午前10時から午後5時まで。

明治用水頭首工漏水問題 「一刻も早く農業用水給水再開を」 国、県に要請書提出



漏水による水位低下で取水ができず、ポンプで水をくみ上げている明治用水頭首工＝20日、豊田市 (村瀬和弘撮影)

愛知県西三河を流れる矢作川をせき止める取水施設「明治用水頭首工(めいじようすいとうしゅこう)」豊田市)で、大規模な「漏水」が発生している問題で、日本共産党愛知県委員会は24日、農林水産省東海農政局に要請書を提出しました。すやま初美県副委員長(参院愛知選挙区予定候補)、高橋真生子県政策委員長(参院比例予定候補)らが参加しました。内容は、一刻も早い農業用水の供給再開ができるよう緊急の対策を講じること▽ホームページだけでなく関係する農家に情報を知らせること▽作物に被害が生じた場合に国が補償をおこなうこと▽今回の漏水について原因究明と再発防止のために抜本的対策をおこなうこと▽農業用水の供給が止まることのないよう検討すること。また県委員会は、県庁で大村秀章知事あての要請書を提出しました。

農民運動愛知県連合会(愛知農民連川伊藤政志会長)は23日、東海農政局長あてに要請書を提出しました。

現地は水位低下で川底が見える状態。農政局は工業用水は確保できたとしていますが、農業用水は「5月中旬に再開」との見解。沿線自治体は農家に水道水を供給するなど、緊急の対応を始めています。